

# ブライダルチェックを受けましょう

結婚を予定している方は勿論のこと、まだの方でも、「将来の妊娠出産に備えるために一度は受けておきたいヘルスチェック」をブライダルチェックといいます。



ブライダルチェックを受けることで、妊娠・出産や胎児に影響を与える病気・感染症の有無を調べ、早めに治療したり予防接種を受けたりといった対策ができます。

また、普段の生活では気づきにくい婦人科系疾患の早期発見・治療につながります。ブライダルチェックは、結婚前や結婚後などのタイミングや時期には関係なく、いつでも受けられます。

結婚の予定や妊活することを考えている方はもちろん、まだ予定がない方であっても、1度は受けておきたい検査です。

また、女性だけではなく、男性もチェックすることをお勧めしております。不妊の原因の半数は、男性側にありますので、男性も一緒に受けるのがおすすめです。

男性のブライダルチェックでは、精液検査・性感染症検査などによって、男性側に妊娠の妨げや胎児に異常をもたらす要素が無いかの確認が可能です。

ブライダルチェックで男性側の疾患が発見できれば、早期治療や生活習慣の改善などができます。

将来的に子どもを授かりたいと考えている方は、男女と一緒にブライダルチェックを受けておきましょう。

なお、ブライダルチェックは、保険は適用されず、全て自費診療です。

## <女性のブライダルチェック>

### 1. 採血検査

甲状腺機能検査 (TSH・FT3・FT4)、糖尿病の検査 (随時血糖、HbA1c)、貧血・肝機能・腎機能検査 (血算、生化学検査)、 卵巣予備能力 (AMH)、梅毒 (RPR・TPHA)、B型肝炎 (HBs 抗原)、C型肝炎 (HCV 抗体)、エイズ検査 (HIV 抗体)、HTLV-1 (成人 T 細胞白血病検査、母子感染の予防)、風疹抗体価 HI 法 (先天風疹症候群の予防)

### 2. 膣分泌検査

一般細菌培養 (膣炎の検査) クラミジア PCR 検査、淋菌 PCR 検査 (淋病)

### 3. 子宮頸部細胞診 (子宮頸がんの検査)

### 4. 経膣超音波 (子宮・卵巣の状態の確認)

コース①：上記について全て実施した場合

セット価格 34100 円（税込み）

コース②：コース①から、甲状腺機能、血中グルコース、HbA1c、HTLV-1 を除いた場合

セット価格 27900 円（税込み）

コース③：コース①から、甲状腺機能、血中グルコース、HbA1c、HTLV-1、血算、生化学検査、  
B 型肝炎、C 型肝炎を除いた場合

セット価格 23100 円（税込み）

となります。

検査当日の初診料は検査料金に含まれています。

検査説明等の再診時は 再診料を自費でいただきます。

各項目について個別に検査実施する事も可能です。

<男性のプライダルチェック>

精液検査

甲状腺機能検査（TSH・FT3・FT4）、糖尿病の検査（随時血糖、HbA1c）

貧血・肝機能・腎機能検査（血算、生化学検査）

梅毒（RPR・TPHA）、B 型肝炎（HBs 抗原）、C 型肝炎（HCV 抗体）、

HIV（HIV 抗体）、 HTLV-1、風疹抗体価（HI 法）

セット価格 23100 円

<各検査項目の詳細説明>

内診・超音波検査 子宮頸がん検査

内診・超音波検査では、膣内に細い器具を挿入し、子宮や卵巣の状態を確認します。

子宮筋腫・卵巣癌・子宮内膜症など、婦人科系疾患の早期発見が可能です。

子宮頸がん検査は、子宮の入り口の細胞を採取してがん細胞の有無を調べます。血液検査

血液検査では、血液の濃度や性感染症・ウイルス感染・甲状腺機能異常の有無などを検査

します。検査で分かる主な項目は次の通りです。



HIV 抗体 (エイズ検査)	妊娠・出産・母乳によって赤ちゃんにも感染します。感染している場合には薬の服用や帝王切開での出産・母乳を与えないなどの対策で、赤ちゃんへの感染率を抑えることができます。
貧血	妊娠中は胎児の成長に多くの血液が必要なため、貧血になりやすい状態です。鉄分が足りていないと妊娠中の貧血リスクが高まるため、治療や食事改善を行います。
甲状腺ホルモン	甲状腺機能が低下している場合も、高すぎる場合も妊娠出産・胎児に悪影響があります。適切に治療しておけば大丈夫です。
梅毒	性感染症の一種です。性交渉だけでなく胎盤を通じて胎児に母子感染することもあるため、妊娠前に検査する必要があります。
麻疹 (はしか)	麻疹に対する免疫の有無を調べます。妊娠中は免疫力が低下するため、麻疹に罹患すると、流産のリスクが高くなります。
風しん	風しんに対する免疫の有無を調べます。妊娠初期 (20週頃まで) にかかると先天風疹症候群を起こす可能性があります。
B型肝炎	B型肝炎ウイルスの感染を調べます。血液などから他人に感染しないように注意が必要です。分娩時の母子感染を防ぐためにも必要な検査です。
C型肝炎	C型肝炎ウイルスの感染を調べます。慢性肝炎や肝硬変から肝臓がんに移行する可能性があります。

## 膣分泌（おりもの）検査

膣分泌（おりもの）検査では、細菌による性感染症がないかを検査します。検査で分かる主な項目は、一般細菌培養の他には以下の通りです。

クラミジア	自覚症状のないまま進行している可能性があります。 子宮外妊娠や流産・不妊などのリスクがあり、 出産時に感染していると、赤ちゃんに結膜炎や肺炎などが起きる危険があります。
淋菌	クラミジアと同じく、気づかないまま進行している 可能性があります。子宮外妊娠や早産・不妊のリスク があり、出産時に感染していると、 赤ちゃんに淋菌性結膜炎が起きる危険があります。

詳細については、外来で医師や看護師にお気軽にご相談ください